

# 新たな人口減少対策～強化策～

---

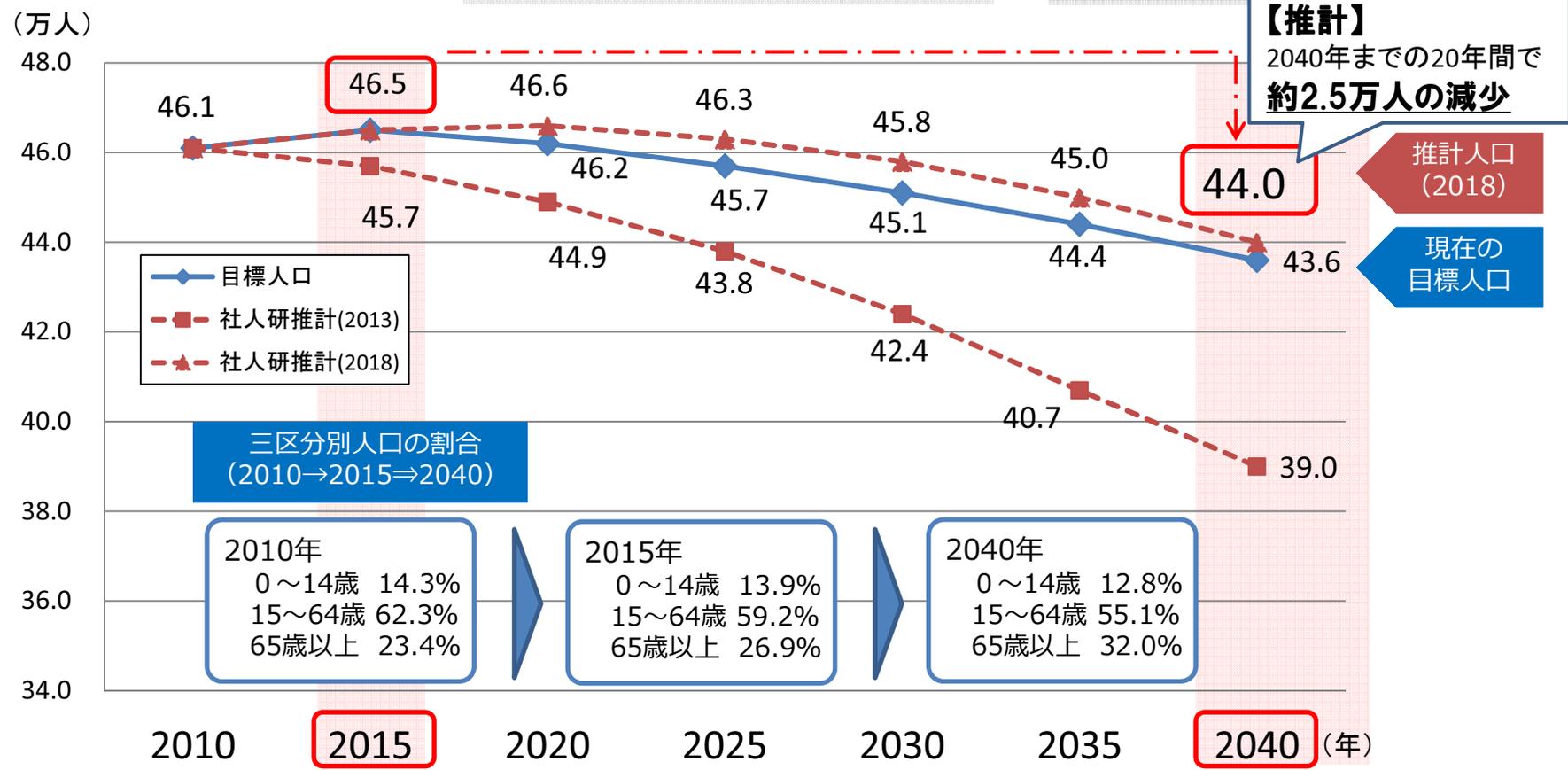
2018年(平成30年)8月  
企画財政局企画政策部企画政策課

# 福山市における人口減少の状況

22年後 2040年

■ 推計人口  
**44万人 (社人研推計2018)**  
 39万人 (社人研推計2013)

◆ 現状  
**46.9万人 (2018年6月末現在)**  
**47.0万人 ( " 7月末現在)**  
 住民基本台帳ベースで4.7万人前後を推移

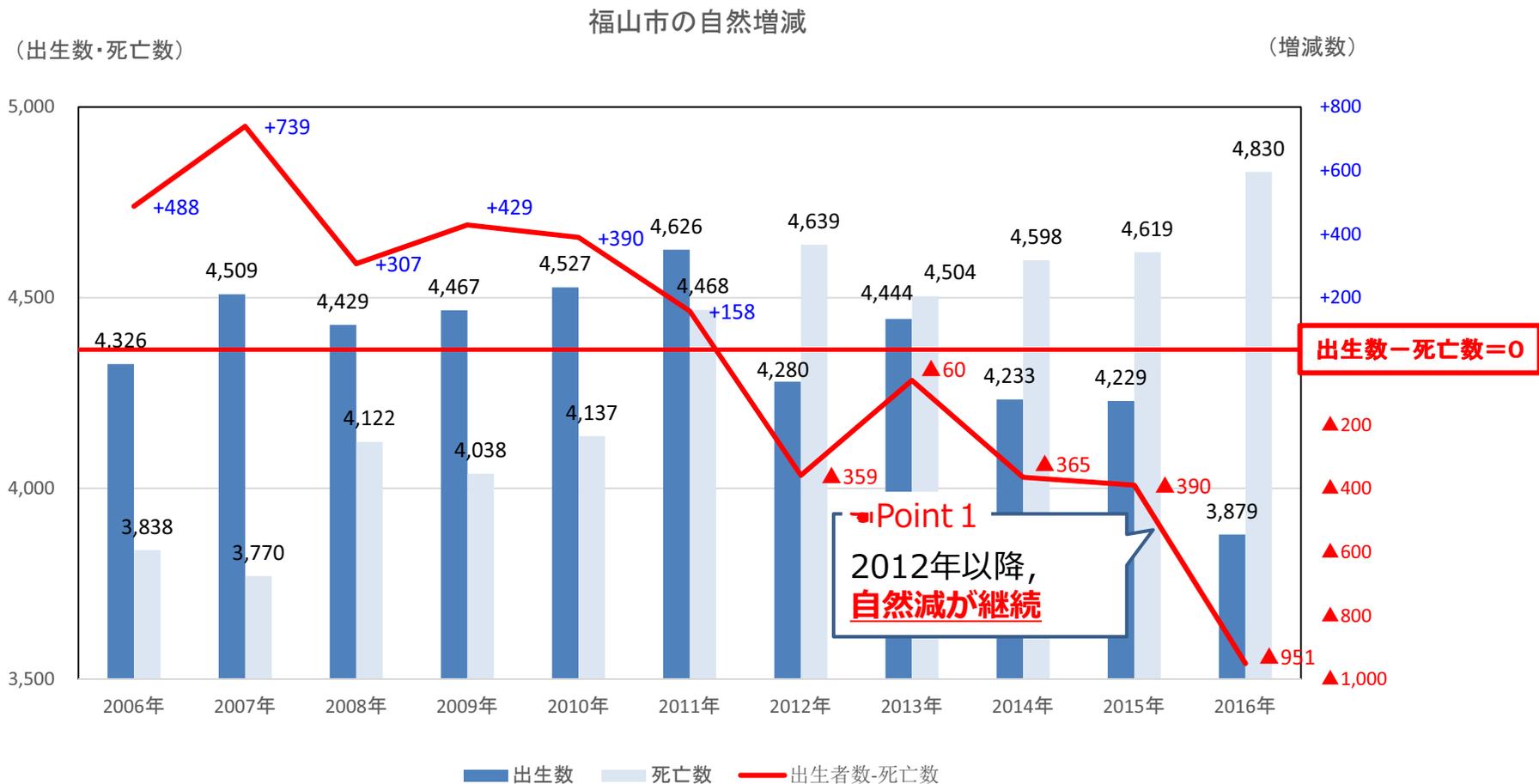


※出生率の改善などにより全国推計における出生率仮定が上昇したことや、近年の人口移動の状況を反映したことなどから、前回推計より全都道府県で人口が減少する時期が10年遅くなった。

(注) 1 福山市人口ビジョン(2015年10月)を基に、2015年国勢調査結果を反映して推計。  
 2 社人研推計(2013)の2010年は実績値、2015年以降は推計値。社人研推計(2018)の2010年・2015年は実績値、2020年以降は推計値。  
 3 目標人口の2010年、2015年は実績値、2020年以降は推計値。  
 (資料)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2013年3月推計)及び(2018年3月推計)

# 福山市における人口減少(自然増減)の状況

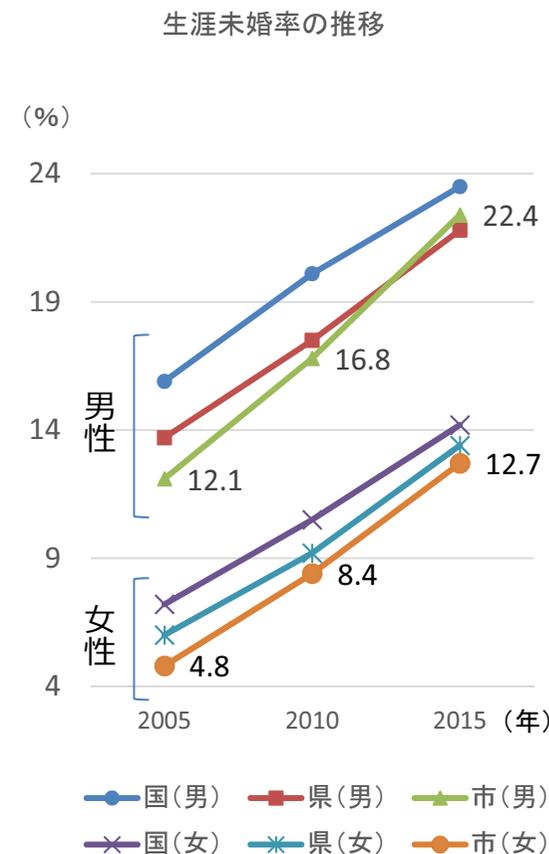
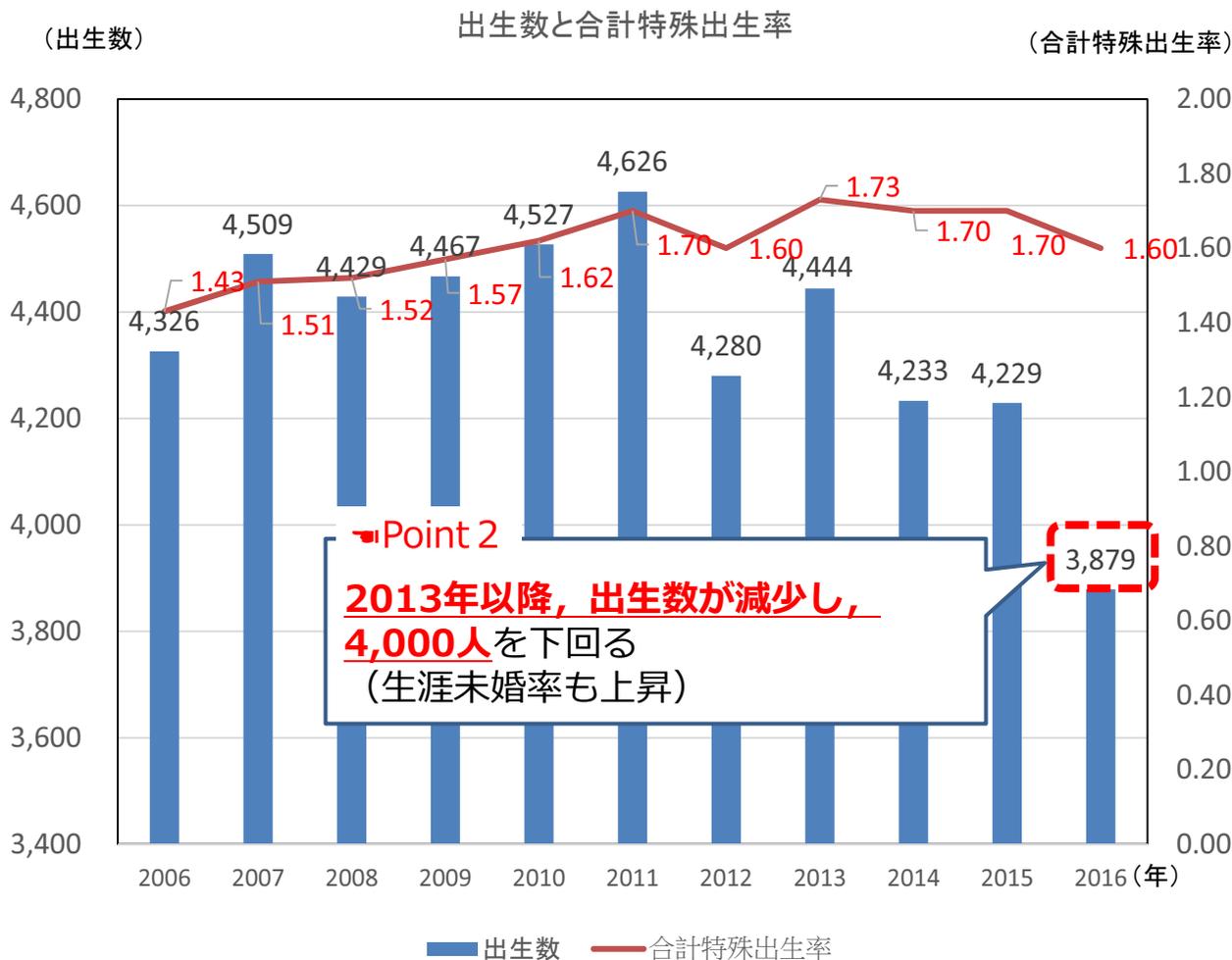
- 福山市の自然増減は多少の増減があるものの、全体的に自然減が続いている。
- 2013年以降、出生数は減少傾向であるが、死亡数は増加傾向である。



出所：厚生労働省「人口動態調査（確定数）」から作成

# 福山市における人口減少(自然増減)の状況

- 2016年の合計特殊出生率は1.60と下がったものの、高い水準をキープしている。
- 一方で、2016年の出生数は4,000人を下回り、平成の大合併後では最低となった。
- 男性女性ともに、生涯未婚率が大幅に上昇している。



出所：総務省「国勢調査」から作成

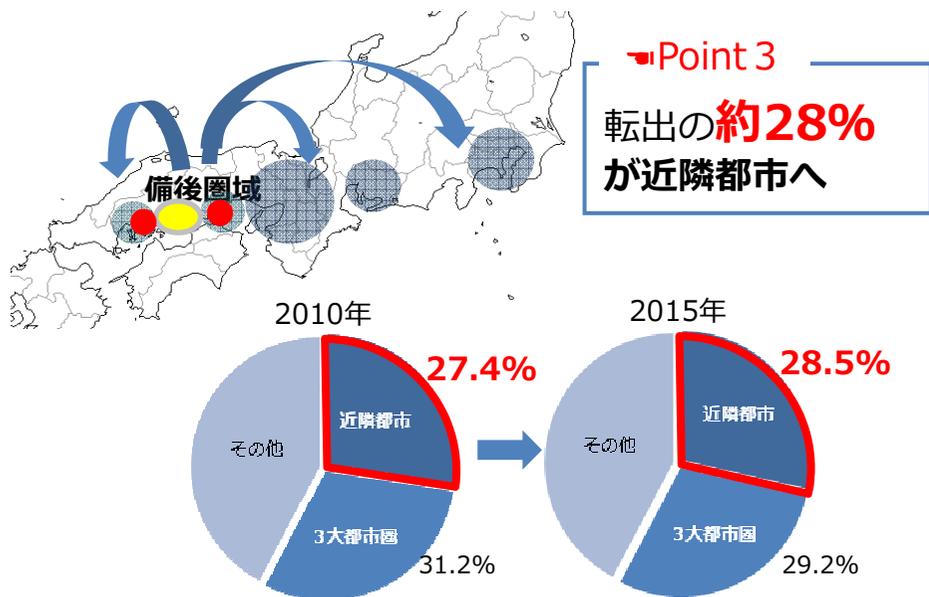
出所：厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況①

## ■ 圏域の人口 (国勢調査)

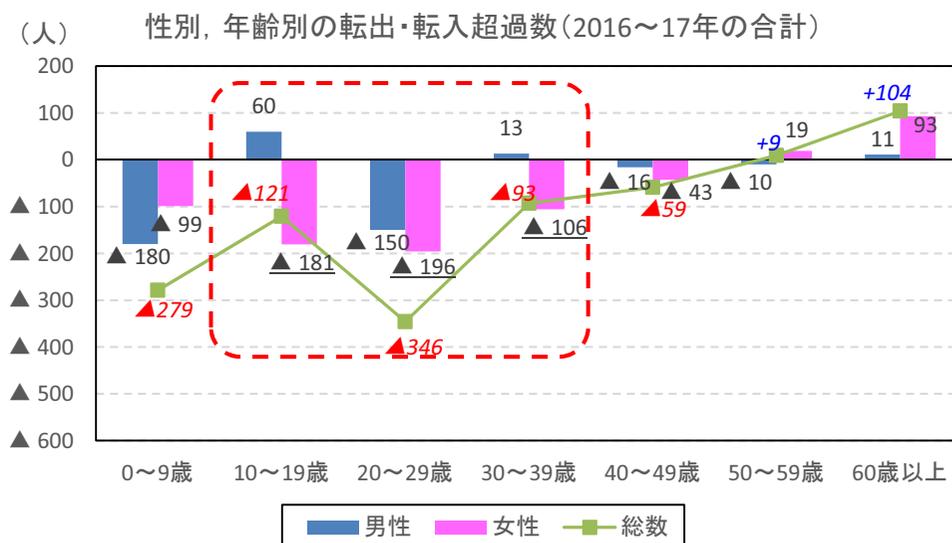
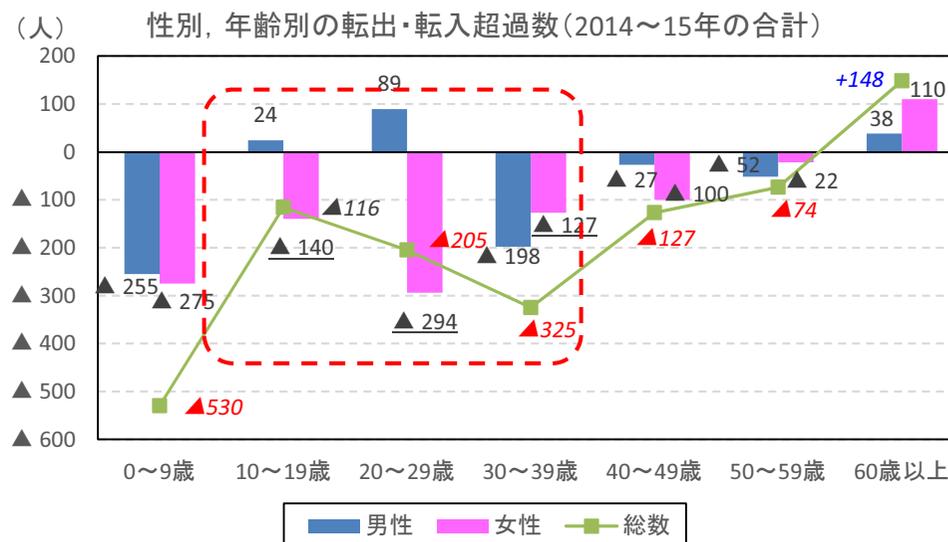
	2010年	2015年	増減
笠岡市	54,225人	50,568人	▲3,657人
井原市	43,927人	41,390人	▲2,537人
三原市	100,509人	96,194人	▲4,315人
尾道市	145,202人	138,626人	▲6,576人
福山市	461,357人	464,811人	+3,454人
府中市	42,563人	40,069人	▲2,494人
世羅町	17,549人	16,337人	▲1,212人
神石高原町	10,350人	9,217人	▲1,133人
合計	875,682人	857,212人	▲18,470人

## ■ 圏域外への転出先の内訳



※近隣都市：広島市，岡山市，倉敷市  
 三大都市圏：東京圏（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）  
 名古屋圏（岐阜県，愛知県，三重県）  
 大阪圏（京都府，大阪府，兵庫県，奈良県）

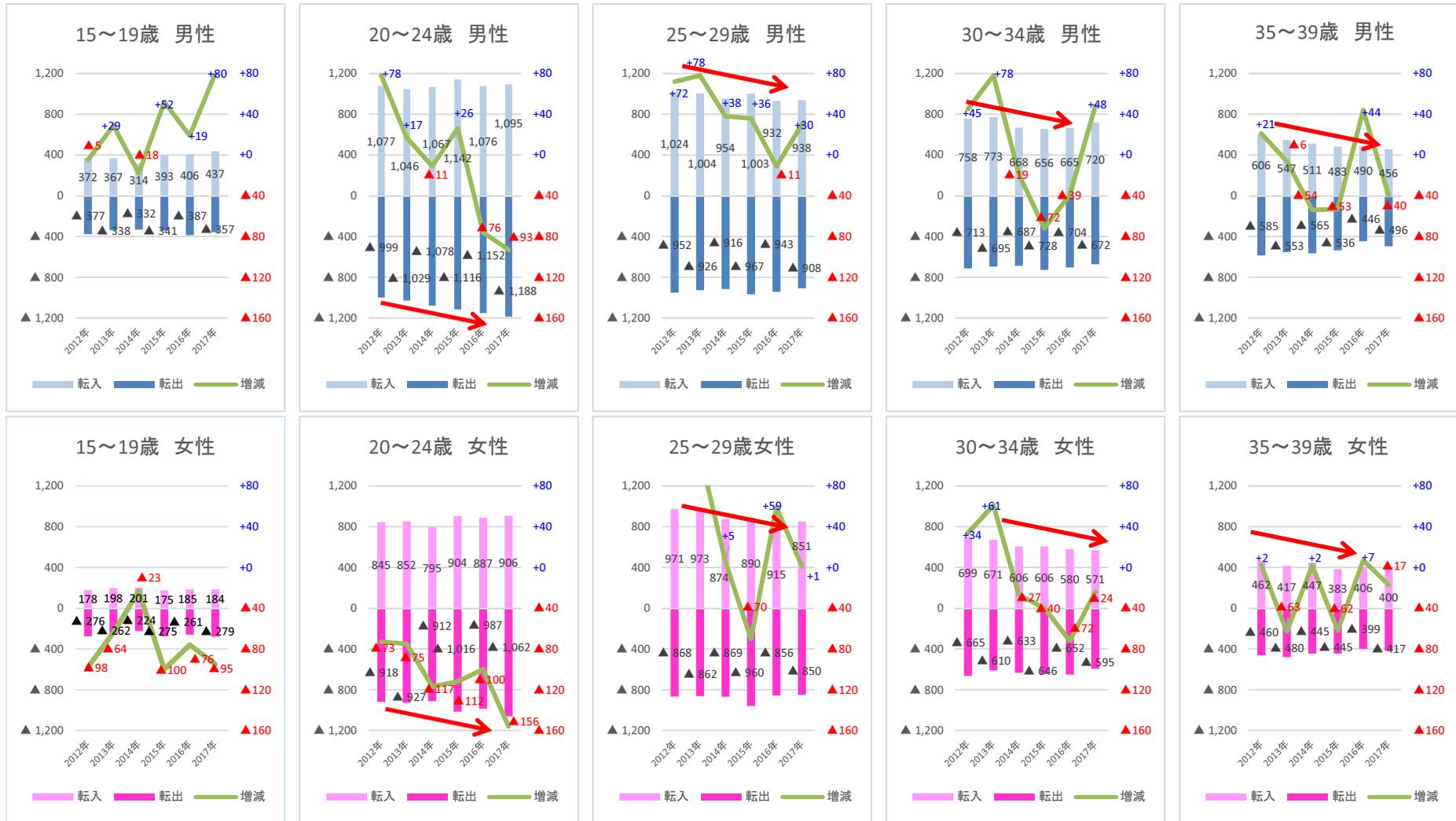
## ■ 福山市の社会増減



**Point 4**  
 特に，10代～30代の若い女性の転出超過が継続

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況②

## ■ 5歳区分ごとの転出入の推移



### Point 5

- ・ 10代女性(女子高生)の転出超過が継続
- ・ 20代前半男女の転出数が増加傾向
- ・ 20代後半から30代は転入が減少傾向。外から呼び込む力が全体的に低下

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況③

## ■ 市外転出の要因

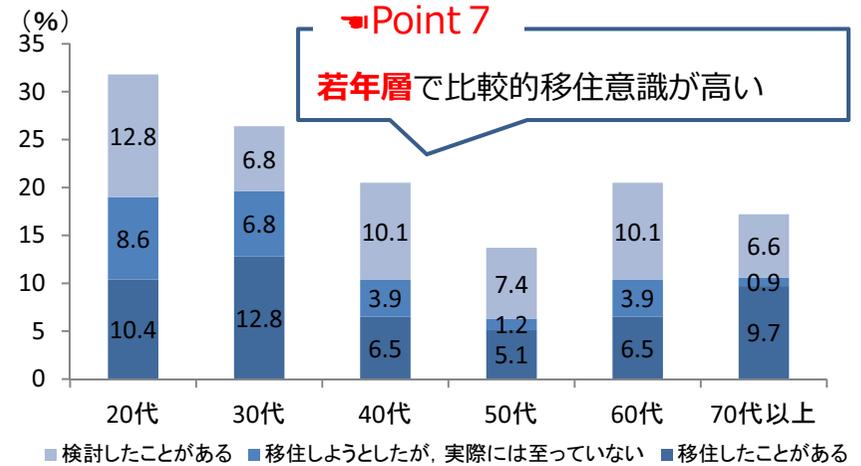
※ 2017年1月～12月 市民課窓口での乙調査記載の13,436人のうち、15～39歳の9,522人の理由割合を基に推計。

年齢		性別		転入出理由											総数
				1 就職	2 転勤	3 転業転職	4 退職廃業	5 入学転校	6 通勤通学	7 結婚離婚	8 子育て環境	9 介護	10 住宅事情	11 その他	
15～19歳	男性	転入	190	41	2	6	77	4	12	2	8	10	85	437	
		転出	79	17	7	9	202	10	1	3	0	6	23	357	
15～19歳	女性	転入	60	9	0	0	66	2	5	5	0	2	35	184	
		転出	36	27	0	3	157	12	12	4	0	1	27	279	
20～24歳	男性	転入	612	172	50	44	26	25	39	5	0	9	113	1,095	
		転出	667	178	67	28	70	13	31	1	1	18	113	1,188	
20～24歳	女性	転入	405	110	62	19	26	10	97	12	0	14	151	906	
		転出	541	89	63	14	43	26	108	9	3	17	147	1,062	
25～29歳	男性	転入	212	356	121	37	4	12	85	4	10	8	91	938	
		転出	219	320	98	19	8	12	73	11	2	37	109	908	
25～29歳	女性	転入	85	179	103	29	7	10	268	32	0	20	119	851	
		転出	118	186	83	22	7	13	251	16	5	41	108	850	
30～34歳	男性	転入	74	339	95	12	2	5	67	7	0	22	96	720	
		転出	60	309	79	5	6	12	58	13	1	49	80	672	
30～34歳	女性	転入	26	89	34	11	4	7	227	15	7	18	133	571	
		転出	55	128	50	13	8	0	240	19	2	19	61	595	
35～39歳	男性	転入	22	239	69	9	7	2	22	9	4	20	53	456	
		転出	30	261	50	7	11	7	31	12	0	39	47	496	
35～39歳	女性	転入	10	168	37	6	12	2	67	21	0	27	51	400	
		転出	18	168	19	5	7	9	73	23	5	30	61	417	
合計	男性	転入	1,110	1,146	336	109	115	48	225	27	22	70	438	3,646	
		転出	1,055	1,085	301	67	297	54	196	41	5	149	372	3,621	
合計	女性	転入	585	555	236	65	115	32	663	84	7	81	488	2,912	
		転出	769	598	214	56	222	60	684	71	14	109	405	3,203	

### Point 6

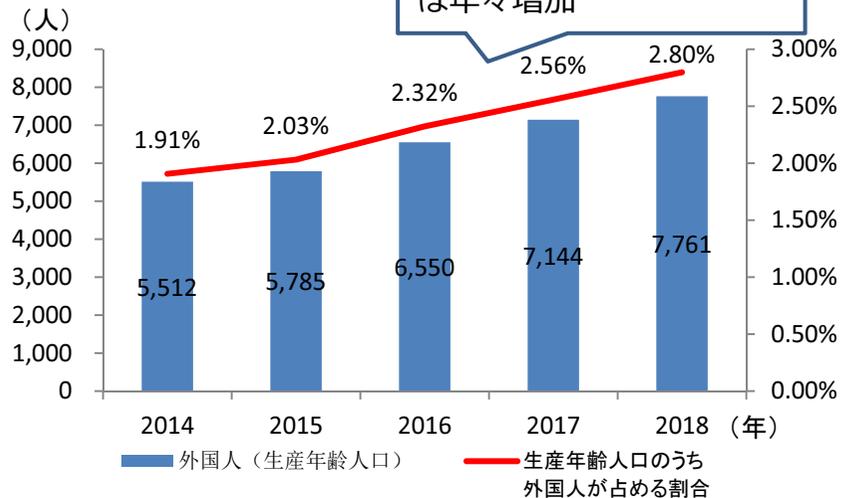
- 20代～30代の転出理由として「仕事」に関するものが多い
- また、女性では「結婚離婚」による転出が多い

## ■ 移住経験・検討状況



(資料) 福山市「移住・定住に関する意識調査」  
福山市を除く全国の20歳以上の男女2,000人を対象

## ■ 外国人の増加状況



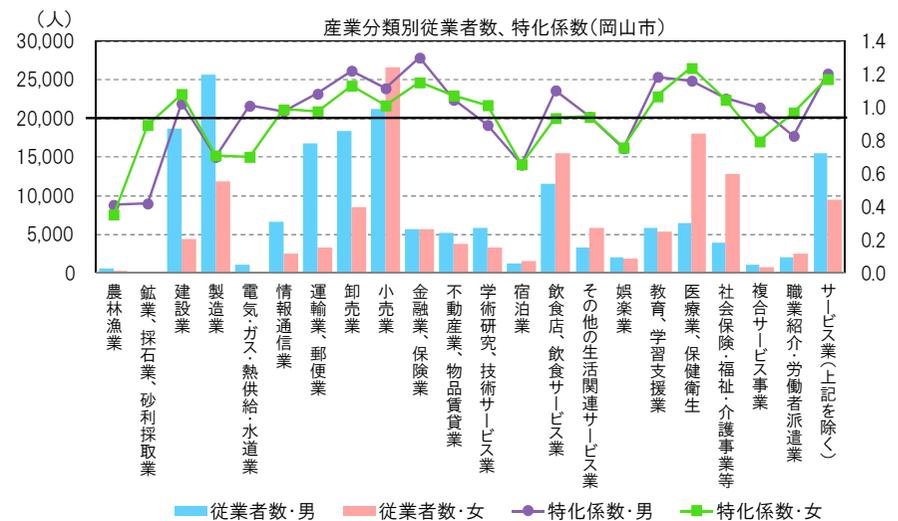
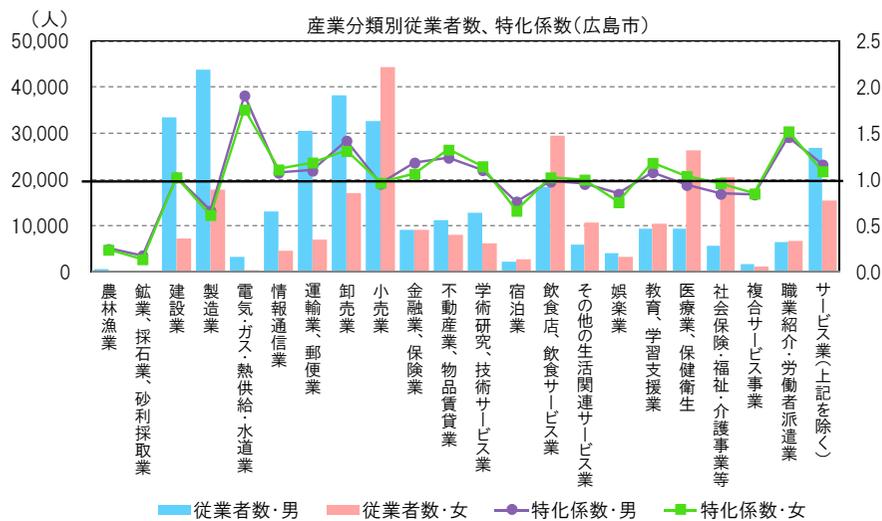
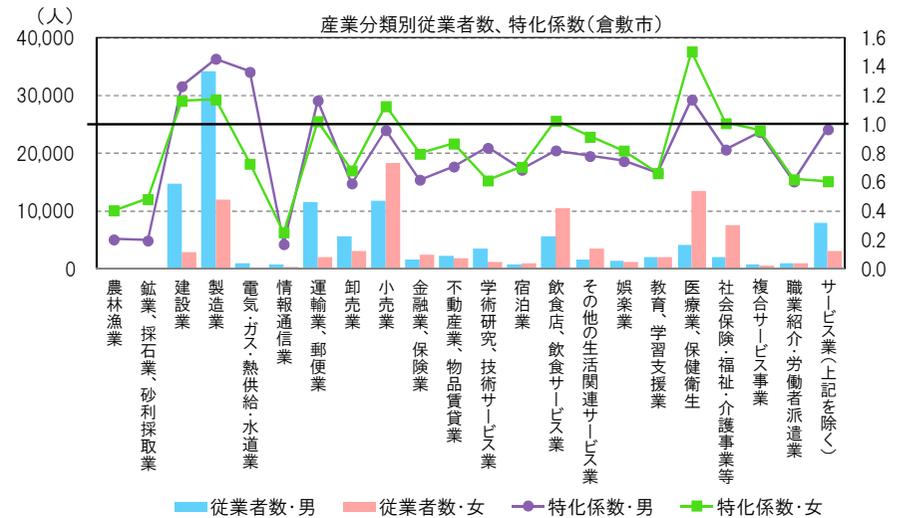
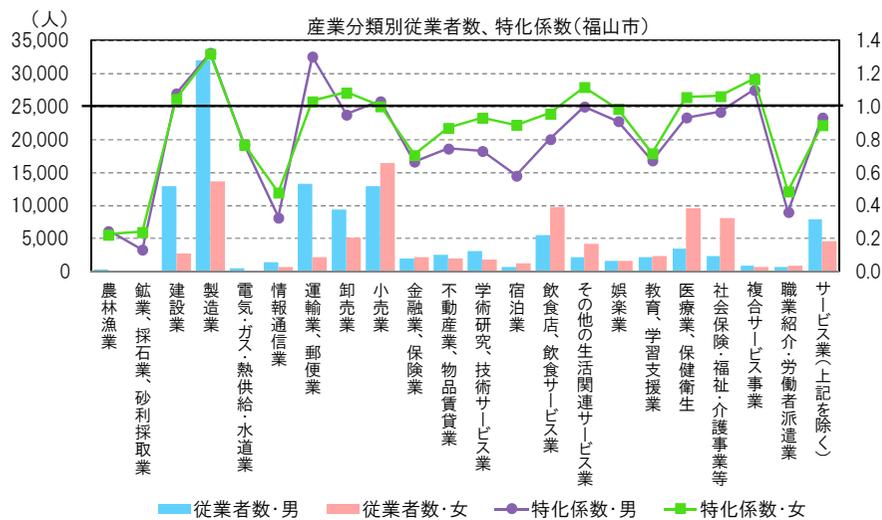
(資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(各年1月1日現在)  
生産年齢人口は15歳以上65歳未満

# 福山市における人口減少(社会増減)の状況④

## ■雇用・就業者の状況

(資料) 総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」

- ・特化係数で見ると、製造業や運輸業・郵便業などで高く、製造業やこれに関連する産業の集積度が高い。  
一方で、情報通信業や金融・保険業、不動産業、教育・学習支援業など、広島市や岡山市で集積度の高い産業の特化係数が低い。
- ・女性の特化係数で見ると、福山市と比べて岡山市や倉敷市では、小売業や医療・保健などの係数が高い。

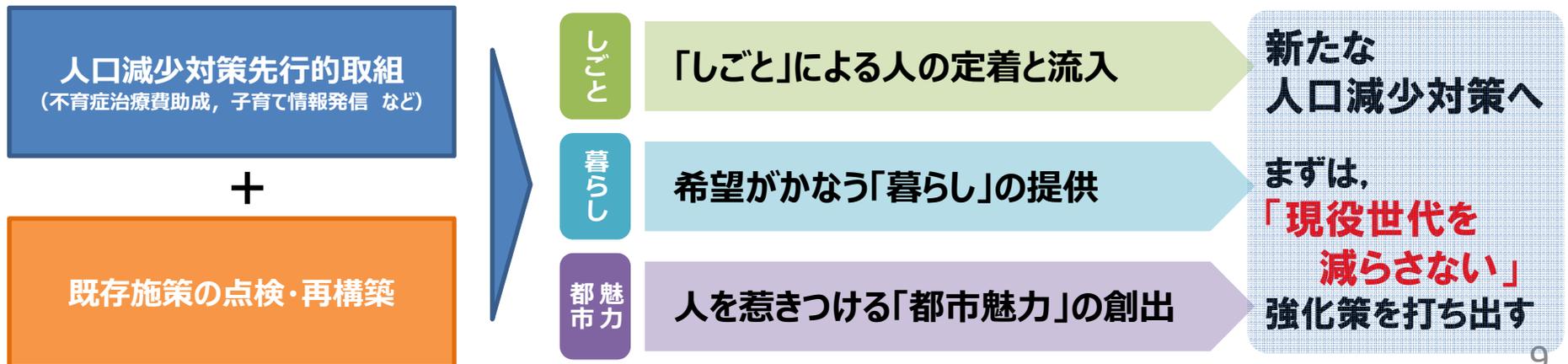
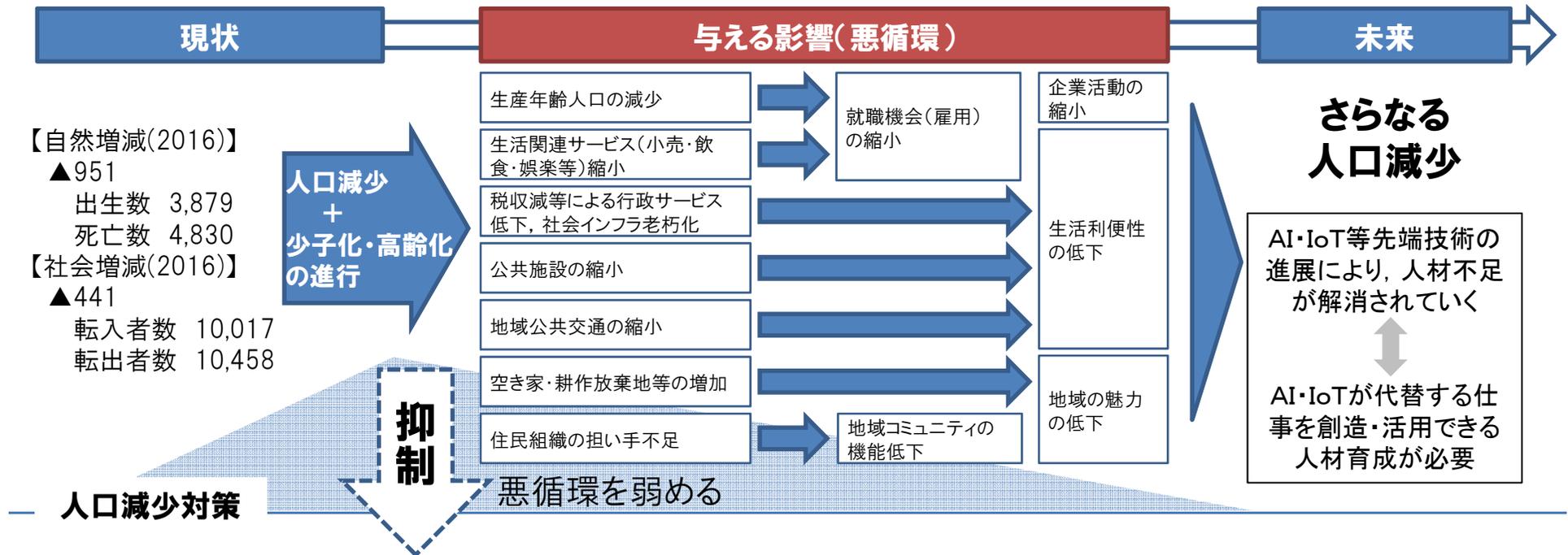


(注) 福山市と近隣都市(広島市、岡山市、倉敷市)の産業別就業数と特化係数(各産業の全国就業割合と福山市の就業割合を比べたもので、1より高いと全国よりもその産業の就業割合が高いことを示す。)をみる。



# 今回の人口減少対策の考え方

- 今後、人口減少が加速度的に進行することで、生活利便性の低下や地域の魅力の低下といった悪循環が生じ、さらなる人口減少を生み出していく。
- 今回の人口減少対策では、この悪循環を抑制するため、政策ターゲットを明確にし、施策を打ち出す。



# 既存施策の点検・検証

- 新たな人口減少対策の検討に当たり、既存施策を点検・検証。
- 点検結果や住民アンケート等によるニーズ把握に基づき、新たな人口減少対策のための注力すべき課題を抽出。

抽出した施策の定義: 若者・女性を対象とした人口減少対策に関わりの深い既存施策

1. 施策数 全56施策  
(内訳)  
・自然減対策 21施策 ・社会減対策 35施策

2. 主な指標の状況

①合計特殊出生率	1.73(2013年)	→	1.60(2016年)
②出生数	4,232人(2014年)	→	3,879人(2016年)
③待機児童※	0人(2014年)	→	52人(2017年)
※2017年は国の示した新定義による			
④転出超過	379人(2014年)	→	344人(2017年)
⑤女性の転出超過	206人(2014年)	→	274人(2017年)

3. 主な要因分析

- ・生活基盤の不安
 

結婚を考える場合、どのような心配や不安があるか (結婚・出産・子育てに関する意識調査H27.9)  
「結婚後の生活費のこと」53.3%
- ・経済的な負担感(希望の子ども数に影響)
 

理想の子ども数を持たない理由 (結婚・出産・子育てに関する意識調査H27.9)  
「子どもの教育にお金がかかるから」60.8%  
「出産や育児にお金がかかるから」44.8%
- ・大学進学・就職時における転出
 

将来、福山市に戻りたくない理由 (高校生就業に関する意識調査H27.9)  
「就職したい業種や職種が地元がないから」  
全体44.9% (男性40.7% 女性50%)
- ・市の魅力や認知度が低い
 

地域ブランド調査2017 (ブランド総合研究所)  
魅力度: 福山市355位 倉敷市31位 広島市34位  
認知度: 福山市285位 倉敷市57位 広島市13位

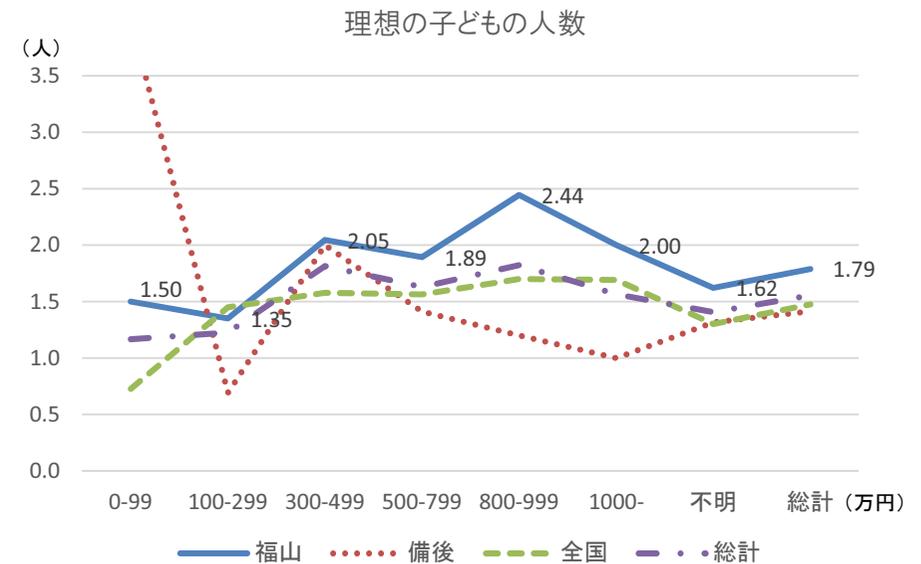
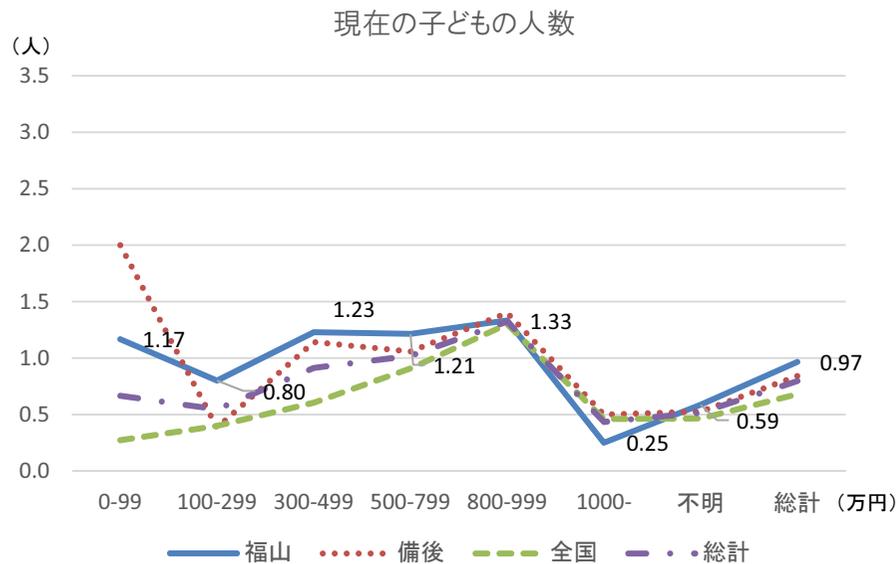
## 4. 既存施策の点検結果 (2018年8月現在)

点検結果	施策数	事業
見直し・改善	24	乳幼児等医療費助成, ふくやまワーク・ライフ・バランス認定, レディワークカフェ 等
継続	31	不育症治療費助成事業, 市外大学への通学支援事業 等
廃止	1	移住・定住促進事業(移住体験ツアーの廃止等)

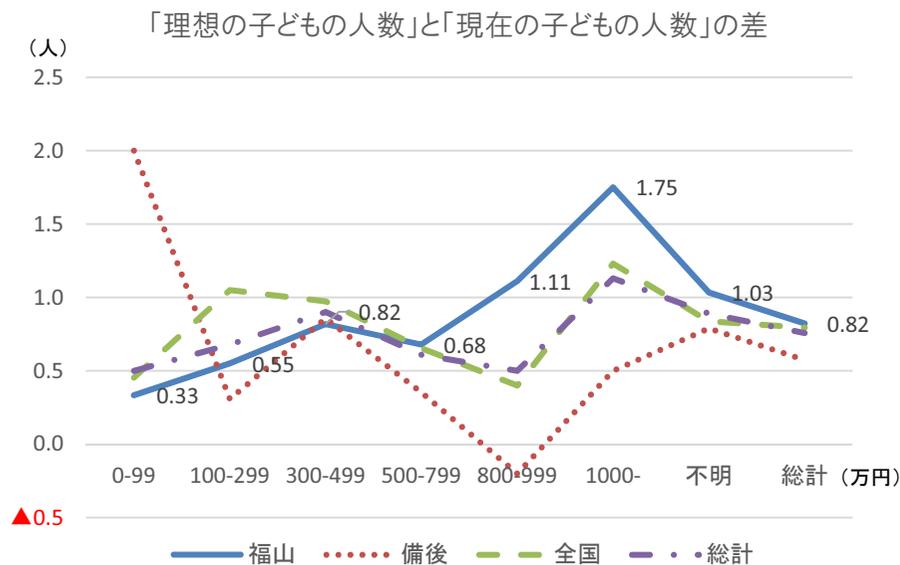
# アンケート分析まとめの概要(市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)2018年6月実施)

対象:女性400名(全国200名, 備後圏域200名)  
年齢20歳~49歳

設問	考察	福山市	福山市以外
理想の子どもの人数をもつには、どのような条件が満たされるといいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市以外は待機児童問題のように預け先のニーズが高いが、福山市は保育サービスが充実しているため、“<b>経済的負担の軽減</b>”を求める傾向にあると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出産や子育てに対する<b>配偶者やパートナーの協力</b> 80.5%</li> <li>②子どもの<b>医療費や保育費用などの負担軽減</b> 60.2%</li> <li>③子どもの<b>教育費の負担軽減</b> 55.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出産や子育てに対する配偶者やパートナーの協力 72.0%</li> <li>②子どもの教育費の負担軽減 55.0%</li> <li>③保育所など子どもを預けられるところの充実 49.6%</li> </ul>
子育てをする上での <b>不安や悩み</b> はあるか(既婚者で子どもあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市以外は「自由時間」を求めるニーズが高い。これは、福山市民が、「<b>自分の時間</b>」より<b>子育てを優先する傾向</b>か、または、<b>保育サービスが充実</b>しており、<b>子どもの預け先に困らないため、「自分の時間」はある</b>ことが考えられる。</li> <li>・「<b>心理的、肉体的負担が大きい</b>」を選択した者について、福山市の未婚等・子どもなしで30.8%に対し、既婚・子どもありでは35.8%であり、<b>想定よりも負担を感じる者が多い</b>と考えられる。→特に<b>第二子以降出産時等にかかる負担を軽減</b>することが必要と思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出産や育児にかかる<b>経済的負担が大きい</b> 37.7%</li> <li>②<b>心理的、肉体的負担が大きい</b> 35.8%</li> <li>③<b>仕事と子育ての両立が難しい</b> 28.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出産や育児にかかる経済的負担が大きい 45.9%</li> <li>②自分の<b>自由な時間が持てない</b> 38.5%</li> <li>③心理的、肉体的負担が大きい 35.8%</li> </ul>
ゆとりをもって楽しく子育てをするには、 <b>どのような支援が必要</b> だと思うか(既婚者で子どもあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市、福山市以外ともに、“<b>経済的負担の軽減</b>”が上位にくる。</li> <li>福山市以外は、保育サービスの充実のニーズも高いが、福山市は、<b>職場環境の改善へのニーズが高い</b>。→<b>事業主の意識改革がより重要</b>となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保育費用や教育費などの<b>負担軽減</b> 64.2%</li> <li>②<b>医療費助成などの支援</b> 58.5%</li> <li>③<b>育児休業等が取得しやすい職場環境・雰囲気づくり</b> 43.4%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保育費用や教育費などの負担軽減 69.7%</li> <li>②医療費助成などの支援 56.9%</li> <li>③<b>病児・病後児保育や一時預かりなど保育サービスの充実</b> 48.6%</li> </ul>
子育てと仕事の両立のために、 <b>企業に期待すること</b> はあるか(既婚者で子どもあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市、福山市以外ともに、“<b>休暇がとりやすい職場環境づくり</b>”や“<b>労働時間の短縮</b>”が求められている。</li> <li>福山市以外には、通勤時間が比較的長い首都圏等を含んでいるため、“<b>在宅勤務の普及促進</b>”が上位にきていると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもの病気・行事のときに<b>休暇がとりやすい職場環境づくり</b> 79.2%</li> <li>②<b>育児休業が取得しやすい職場環境・雰囲気づくり</b> 52.8%</li> <li>②労働時間の短縮やフレックスタイムの導入 52.8%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもの病気・行事のときに休暇がとりやすい職場環境づくり 79.8%</li> <li>②<b>在宅勤務の普及促進</b> 57.8%</li> <li>③労働時間の短縮やフレックスタイムの導入 56.0%</li> </ul>
在住の市区町村が <b>子育てしやすい環境だと思わない</b> と答えた理由(既婚者で子どもあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市は保育・教育環境へは比較的満足しているため、“<b>経済的負担の軽減</b>”へのニーズが高くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①医療費助成や保育費用の軽減など<b>経済的負担軽減策が充実していない</b> 66.7%</li> <li>②育児を手助けしている<b>親きょうだい、知人などが近くにいない</b> 19.0%</li> <li>②<b>教育環境がよくない</b> 19.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①医療費助成や保育費用の軽減など経済的負担軽減策が充実していない 55.6%</li> <li>②<b>保育施設(保育園など)が充実していない</b> 36.1%</li> <li>③教育環境がよくない 30.6%</li> </ul>
より多くの人にあなたが住んでいるまちに転入してもらうために <b>最優先で取り組むべきもの</b> (既婚者で子どもあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市、福山市以外ともに、“<b>経済的負担の軽減</b>”が最も多く、次いで、“<b>子どもの遊び場の充実など楽しく子育てできる環境づくり</b>”が上位にくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子育てに関する<b>経済的負担の軽減</b> 62.3%</li> <li>②<b>子どもの遊び場の充実など楽しく子育てできる環境づくり</b> 18.9%</li> <li>②雇用の場の確保や職業のあっせんなど<b>雇用の支援</b> 18.9%</li> <li>②安価で質の高い住宅の供給 18.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子育てに関する経済的負担の軽減 55.0%</li> <li>②子どもの遊び場の充実など楽しく子育てできる環境づくり 31.2%</li> <li>③<b>夜間・休日などいつでも安心して医療機関に受診できる体制の確保</b> 27.5%</li> <li>④雇用の場の確保や職業のあっせんなど雇用の支援 19.3%</li> </ul>



※本ページのグラフ上に記載の数値は「福山」の数値



・福山市は、所得にかかわらず、理想の子ども的人数は多い。

(低所得でも出産を希望している。一方で、高所得層は理想の人数は多いが、現実とのかい離が大きい)

合計特殊出生率 (1.60)  
市民希望出生率 (1.97)



**理想の人数の子どもをもつことができる環境整備が有効**

# 新たな人口減少対策の方向性・政策ターゲット(ペルソナ)の設定

ライフスタイルの多様化

2040年に向けた目標

注力すべき課題  
(強み・弱み, アンケート結果など)

政策ターゲット(ペルソナ)の設定

生涯未婚率の上昇や働き方の多様化など、従来から生活スタイルが変化

多様なライフスタイルが  
実現できるまち

まずは、「現役世代を減らさない」

従来

人生において就職、結婚、子育てがパッケージ化

現在

働き方や結婚・子育ての選択肢が広がり、標準的なものがなくなりつつある

チャレンジへの選択肢がたくさんある

希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

- 大学進学時の転出超過
  - ・高校生の約4割が市外大学に進学
  - ・大学の転出先は、岡山県、大阪府、東京都、京都府、愛媛県、兵庫県の順
  - ・男子高校生は、女子高校生に比べ市内就職の割合が高い
- 就職期における転出超過の継続
  - ・20代前半で転出が増加傾向、20代後半以降で外から呼び込む力が低下
  - ・就職したい業種や職種が地元でない
  - ・転出理由は「仕事」「結婚・離婚」が多い
- 出生数の減少
  - ・2012年以降、自然減が継続
  - ・出生数が4,000人を下回る
  - ・合計特殊出生率は、一定の水準を保っているが、親となる世代が転出等により減少
  - ・10代～30代の若い女性の転出超過の継続
  - ・5割の女性が結婚や出産を機に退職
  - ・ひとり親家庭のうち7割が生活困難層
- 若年層で高い移住意識
  - ・20代、30代で移住の経験や検討している割合が高い

- 外国人の数、割合が近年増加
  - ・生産年齢人口に占める外国人の割合が年々増加

人口減少対策を  
3つの社会増減のターニングポイントと  
4つのライフスタイルで捉える

ターニングポイント

進学

就職

移住

ライフスタイル

シングルスタイル

専業主婦(夫)スタイル

共働き(子どもあり)スタイル

共働き(子どもなし)スタイル

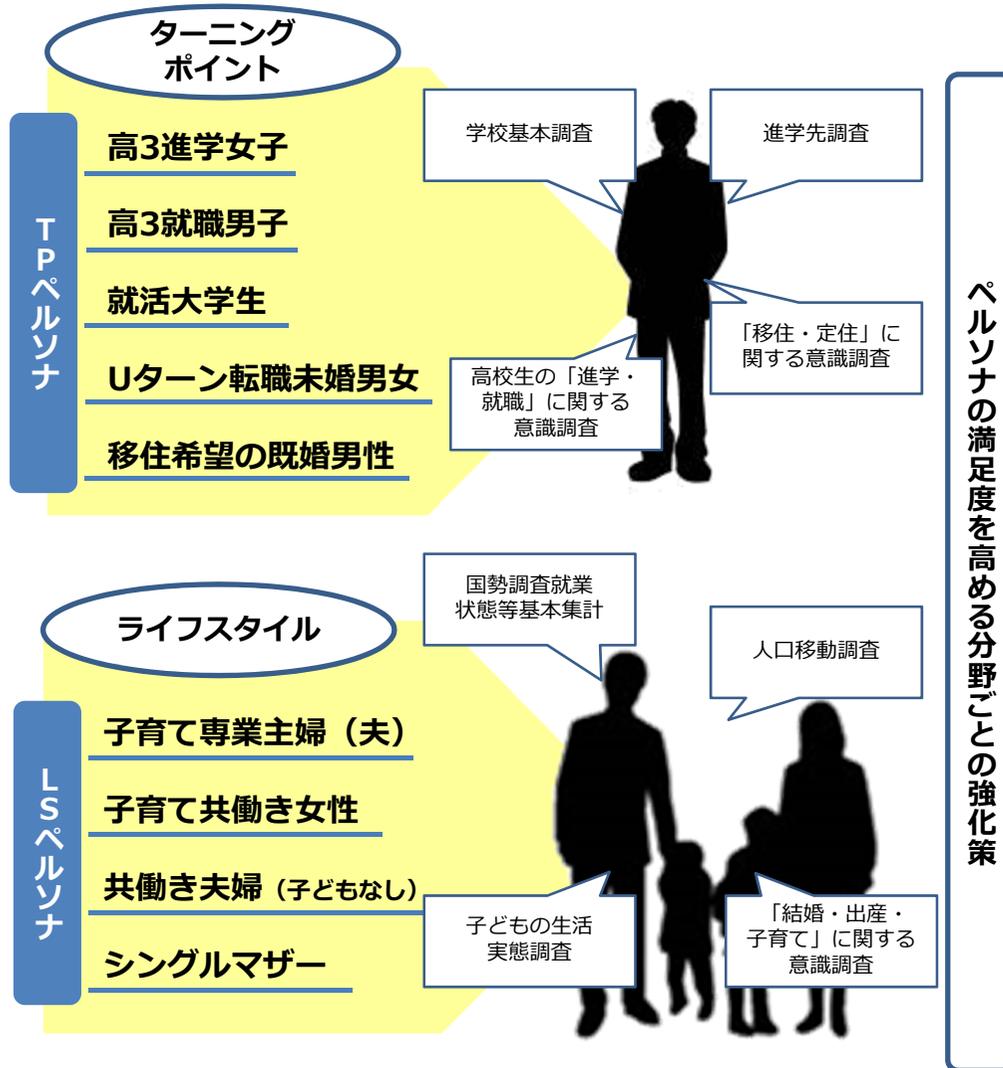
9つのペルソナ  
を設定

「ペルソナ」とは、サービスを利用する象徴的なユーザー像のこと

# 政策ターゲット(ペルソナ)設定～目標実現のための強化策

## 強化策構築のための政策ターゲット(ペルソナ)設定

○各種調査などからボリュームゾーンを分析し、9つのペルソナを設定



ペルソナ設定のための掲載データは一部

## 目標実現のための強化策

○ペルソナに応じて強化策を打ち出す

「・」は、強化策に位置付く事業例

「※」は、戦略推進マネージャーの提案事業

みんなの働き方が見つかるまち

### 【ワークプレイス改革】※

- ・オープンコラボスペースの整備
- ・企業と学生のマッチング改革
- ・学生の起業・大学発ベンチャーの支援 など

### 【ワークスタイル変革】※

- ・テレワーク、ワーケーション、プチ勤務、兼業・副業の促進 など

### 【心と体のリフレッシュ】※

- ・子育てママのリフレッシュ(子育てパパイベント等の充実)
- ・男性の働き方改革No1都市 など

### 【ライフデザインの支援】※

- ・ネウボラを核とした安心できる子育てライフ(FP協会との連携等)
- ・子育て期における経済支援(乳幼児医療費助成) など

### 【安定した医療・福祉体制の確保】

- ・医療・介護・保育スタッフの確保(奨学金等) など

### 【多様な学びの場と郷土愛の創出】※

- ・遠隔教育・サテライト教育の強化(福山で若者・社会人が望む教育が受けられる)
- ・学校教育での郷土愛の育成強化 など

### 【新しい価値を生む都市づくり】※

- ・ホンモノの芸術文化や異文化に触れる機会の充実
- ・まるごと実験都市ふくやまの推進
- ・移住暮らしのモデル地域づくり など

みんなの安心が見つかるまち

みんなの誇りが見つかるまち

施策効果を高める共通項  
テクノロジー(AI, IoT等),  
教育, 地域コミュニティー

## 強化策のうち、戦略推進マネージャーの提案事業(※)

### ワークプレイス改革

#### 新しい価値を生む都市づくり

#### クリエイティブ人材の育成・誘致

- 映画・ドラマ等のロケ誘致促進を通じたクリエイティブ人材の育成
- 首都圏の企業の業務の一部や人材の誘致（ワーケーションなどの推進）

#### 新しい価値を生む都市づくり

#### ふくやま企業ボトムアップ戦略

- 戦略推進マネージャーの持つノウハウ・ネットワークを活用した企業サポート（福の耳PJの充実）

### ワークスタイル変革

#### ライフデザインの支援

#### ライフ・スタイル改革

- 若者へキャリアデザイン×ライフデザイン啓発
- 市役所の働き方改革（先進事例の提示）

### 心と体のリフレッシュ

#### 新しい価値を生む都市づくり

#### リトリートふくやま

- 関西圏の20～40代の女性をターゲットに、女性一人旅を提案（心身をリトリート）

リトリート：心と体のリフレッシュ

#### 新しい価値を生む都市づくり

#### アジア圏の観光ニーズ分析

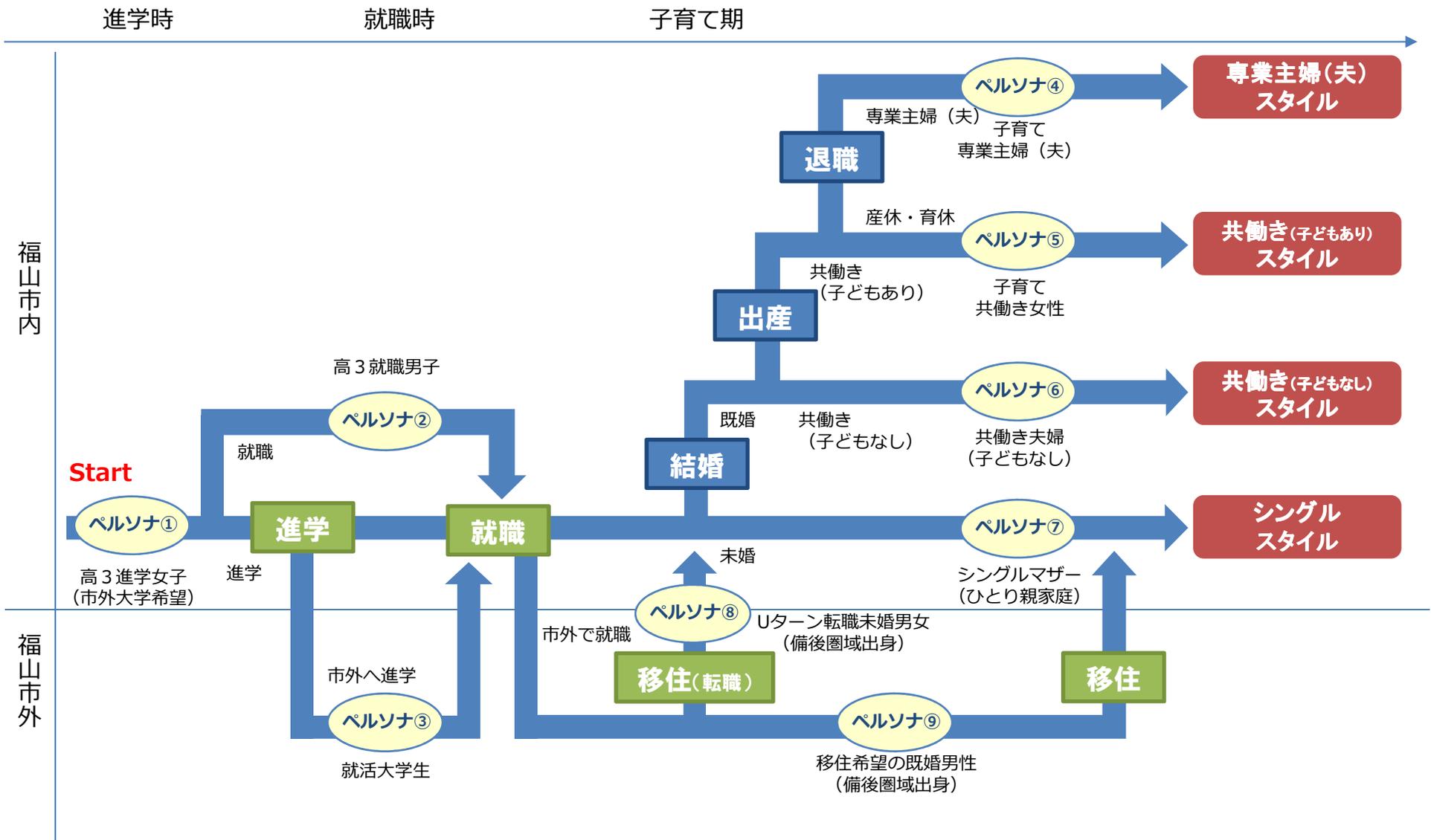
- アジア圏の若者に人気のあるLive配信の実態調査など

### 多様な学びの場と郷土愛の創出

#### 大学の魅力向上

- ゲストスピーカーとして戦略推進マネージャーの知見からビジネスプランなどへのアドバイス実施

# ライフステージごとに想定される政策ターゲット(ペルソナ)のイメージ



## 政策ターゲット(ペルソナ)の設定イメージ

政策ターゲット	ペルソナの具体	政策ターゲット	ペルソナの具体
【ペルソナ①】 市外大学等への進学を考えている 高校3年生の女子	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 18歳 女性（未婚）</li> <li>❖ 高校生（大学受験を控えている）</li> <li>❖ 子どもなし</li> <li>❖ 福山市に在住（実家）</li> </ul>	【ペルソナ⑦】 二人の子どもを育てている 25～39歳 シングルマザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 30歳 女性（未婚）</li> <li>❖ 会社員</li> <li>❖ 子ども2人（小学生・幼児（保育所））</li> <li>❖ 福山市に在住（賃貸住宅）</li> </ul>
【ペルソナ②】 地元企業への就職を予定している 高校3年生の男子	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 18歳 男性（未婚）</li> <li>❖ 高校生（就職予定）</li> <li>❖ 子どもなし</li> <li>❖ 福山市に在住（実家）</li> </ul>	【ペルソナ⑧】 Uターン転職しようと考えている 25～39歳 未婚の会社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 30歳 男女（未婚）</li> <li>❖ 会社員（デザイナー，IT系）</li> <li>❖ 子どもなし</li> <li>❖ 備後圏域出身（Uターン希望），関西圏に在住（賃貸住宅）</li> </ul>
【ペルソナ③】 就職で福山に戻るかどうか悩んでいる 大学3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 21歳 男女（未婚）</li> <li>❖ 大学生（就職活動中）</li> <li>❖ 子どもなし</li> <li>❖ 福山市出身，市外（関西圏等）に在住（賃貸住宅）</li> </ul>	【ペルソナ⑨】 一家で移住を考えている 25～39歳 既婚の男性会社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 37歳 男性（既婚）</li> <li>❖ 会社員</li> <li>❖ 子ども2人（保育所，乳幼児）</li> <li>❖ 備後圏域出身（Uターン希望），関西圏に在住（賃貸住宅）</li> </ul>
【ペルソナ④】 出産を機に退職した 25～39歳 子育て中の専業主婦（夫）	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 31歳 男女（既婚）</li> <li>❖ 専業主婦（夫）</li> <li>❖ 子ども1人（乳幼児）</li> <li>❖ 福山市に在住（賃貸住宅）</li> </ul>		
【ペルソナ⑤】 3人目を考えている 25～39歳 子育て中の共働き女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 38歳 女性（既婚）</li> <li>❖ 会社員</li> <li>❖ 子ども2人（幼児（保育所））</li> <li>❖ 福山市に在住（賃貸住宅）</li> </ul>		
【ペルソナ⑥】 妊娠を希望している 25～39歳 共働き夫婦	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 34歳 男女（既婚）</li> <li>❖ 会社員</li> <li>❖ 子どもなし</li> <li>❖ 福山市に在住（賃貸住宅）</li> </ul>		

【ペルソナ⑤】

3人目を考えている25～39歳  
子育て中の共働き女性

- ❖ 38歳 女性 (既婚)
- ❖ 会社員
- ❖ 子ども2人 (幼児 (保育所))
- ❖ 福山市に在住 (賃貸住宅)

【キーワード】

- 3人目を考えているが、経済面での不安のほかに、夫の育児へのサポートで不満があり、悩んでいる
- 結婚が周りと比較して遅かったため、3人目の出産を考えると年齢的にリスクがあると感じている
- 住まいが手狭になってきたため家を建てようと考えている

経済面や育児の不安解消により3人目を出産し、福山で家を建ててもらいたい

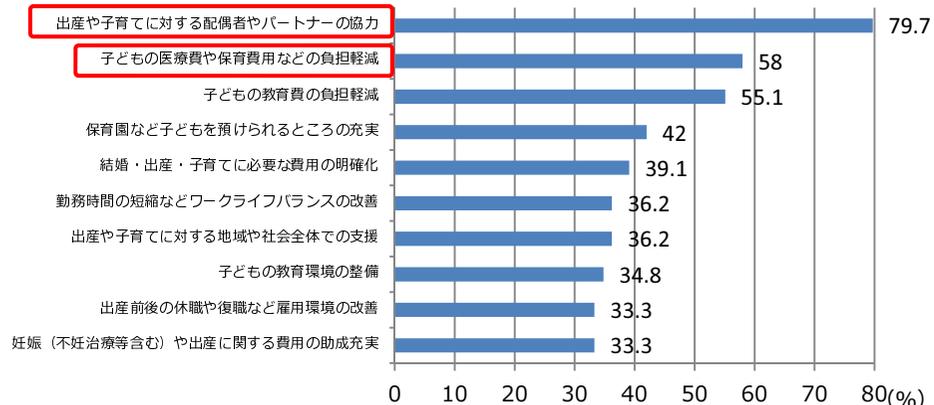
DATE

福山市在住 世帯主25～39歳

		世帯	
夫婦	子どもあり	専業主婦 (夫)	17.9% 5,779世帯
	核家族世帯	共働き	25.7% 8,296世帯
		子どもなし	11.5% 3,710世帯
女親	子どもあり	7.1% 2,305世帯	
男親	子どもあり	0.4% 140世帯	
単独世帯			33.1% 10,702世帯
その他			4.3% 1,370世帯
合計			100% 32,302世帯

※「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」を基に推計

理想の子どもの人数をもつための条件 (上位10項目)



みんなの働き方が見つかるまち

ワークスタイル変革

- テレワーク, プチ勤務, 兼業・副業の促進

みんなの安心が見つかるまち

心と体のリフレッシュ

- 子育てママのリフレッシュ (子育てパパイベント等の充実)
- 男性の働き方改革No1都市

ライフデザインの支援

- ネウボラを核とした安心できる子育てライフ (FP協会との連携等)
- 子育て期における経済支援 (乳幼児医療費助成)

# 人口減少対策ロードマップ

成果指標 (2021年度)

## 全体指標

「合計特殊出生率 (1.60 (2016))  
と市民希望出生率 (1.97) の差を  
縮める」

## 個別指標

「政策ターゲット (ペルソナ) ごとに  
事業計画策定後、指標を設定」

